

平成 29 年度 一般採用試験（後期日程）

国 語 試 験 問 題

(理 工 学 専 攻)

(注 意)

1. 解答用紙の注意事項を確認のうえ、例にならって氏名及び受験番号を解答用紙に必ず記入及びマークすること。

例 【氏名】 防大 諸 【受験番号】 神奈川後理W1234 の場合

\*氏名及び受験番号の記入について

	氏 名				
フリガナ	ボウダイ	ナギサ	志願地本名	専攻区分	番 号
漢字	防大	諸	受験番号	神奈川	後理
				W1234	

\*受験番号等のマークについて（女子受験者は、番号のWについてはマークしない。）

志願地本名	札幌：(01)	福島：(10)	専攻区分 理工	番号			
	函館：(02)	茨城：(11)		(0)	(0)	(0)	(0)
	旭川：(03)	栃木：(12)		1	1	1	1
	帯広：(04)	群馬：(13)		2	2	2	2
	青森：(05)	埼玉：(14)		3	3	3	3
	岩手：(06)	千葉：(15)		4	4	4	4
	宮城：(07)	東京：(16)		5	5	5	5
	秋田：(08)	神奈川：(17)		6	6	6	6
	山形：(09)	新潟：(18)		7	7	7	7
				8	8	8	8
				9	9	9	9

2. 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。

3. 解答方法は、択一式であり、設問ごとの指示に従い、解答用紙の解答欄にマークすること。

例えば、①と表示のある問題に対して(3)と解答する場合は、次の例のように①の解答欄の③にマークすること。

例	解 答 欄					
	1	1	2	3	4	5

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

(星野俊也氏の「国連は『戦後』を超えるのか——創設七〇年の変容と展望」  
二〇一六年五月による。なお出題の関係上、原文の表記を一部改めてある。)

\*(注) ISIL——「イラク・レバントのイスラム国」の略称。日本のメディアでは「イスラム国」と呼ばれることが多い。

国内避難民——戦争や内戦、政治・宗教・人種などを理由とする迫害などにより、国内で避難を余儀なくされた人々のこと。これに対して国外に避難した人々は難民と呼ばれる。

アルカイダ——二〇〇一年九月の米同時多発テロ事件を引き起こしたイスラム原主義派テロ組織。

1

傍線部の片仮名(1)～(5)にあてはまる漢字として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次のの中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 不安
- (2) 不倒
- (3) 専制
- (4) 疲弊
- (5) 政党

2

傍線部(a)が指し示す内容として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次のの中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 国連は旧連合国組織としてスタートしたので、新しい加盟国は、戦勝国を代表する安保理常任理事国の承認を受けなければならない。
- (2) 国連は人類の福祉の増進といった普遍的な目的を掲げているため、それが国連に北朝鮮など世界秩序を脅かす国家に介入する権限を与えていた。
- (3) 国連では五大国が拒否権を認められているため、冷戦期には米ソの拒否権行使によって、しばしば機能不全に陥つてきた。
- (4) 国連は高邁な目的を掲げている一方で、その実現にむけては、加盟国間での合意が前提になるので、国際社会での権力政治の影響を受けることが多い。
- (5) 安保理で五大国に圧倒的な権限が与えられているので、国連では中小国の声が反映される場が限られてきたため、今日では拒否権制度の見直しが求められている。

3

傍線部(b)が指し示す内容として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものを次のの中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) ソーシャルメディア等を通じて、個人の意見を交換する場が格段に増えたため、政府への批判が政権転覆につながるような現象も起きた。
- (2) 途上国では、グローバル化の進行によつて、国民の間で富者と貧者との二極化が進み、「脆弱国家」化が進んで、テロの温床となつていてる。
- (3) オバマ政権は、過去の政権による中東への介入が国民に不評であったのを気にして、シリアへの軍事作戦を抑制する傾向がある。
- (4) ロシアは、ウクライナからクリミアを一方的に併合したが、その背景には、かつての覇権を復活させて、自らの支持基盤を強固にしようとする大統領の野心があつた。
- (5) 中国の習近平政権は、中国抗日戦争・世界反ファシズム戦争勝利70周年を記念して、大規模な軍事パレードを行い、自国の威信を国民に印象づけようとした。

国連に関する筆者が本文で展開する議論の内容として、最も適当なものを

次のなかから一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) グローバル化する今日の世界においては、国家のパワーと比べて、ますます人々のパワーが増大しているので、「国際の平和と安全の維持」は大国に任せ、国連は「人間の平和と安全の前進」に特化すべきである。
- (2) 「人間の平和と安全の前進」のためには、「保護する責任」論を活用して、国連が安保理を中心に積極的に介入し、テロや内戦などの災禍からより多くの人々を救うことが急務になっている。
- (3) 国際社会には世界政府が存在せず、国連での決定も国益を追求しようとする加盟国との間での妥協の産物という宿命から逃れられないが、人類の福祉の実現も国連の目的として明記されており、これらの問題に取り組んでいくことがあります重要になっている。
- (4) 国連では国際協調が不可欠ではあるが、近年内政の不干渉や国境線の不変更といった根本原則を、大国が公然と無視する動きが目立つており、このような動きを抑制するには、情報通信技術を活用して、これらの大国の人々のパワーを増進していく必要がある。
- (5) 主権平等や内政不干渉といった伝統的原則は、グローバル化が進む世界で、人類の福祉という今後の国連の重要な目標を達成するうえで大きな支障となるので、それらをある程度制約できる方向に安保理改革を追求していく必要がある。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上  
問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上  
問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

実践躬行——他の人の助けや力を借りず、自分一人で実行すること。

フロイト——ジクムント・フロイト。精神分析学を確立した。

ヘーゲル——ドイツの哲学者。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

(竹田青嗣氏の『恋愛論』による。なお出題の関係上、原文の表記を一部改めてある。)

\*〔注〕ナルシシズム——自己を中心とする世界に生きようとする志向。

メランコリー——憂鬱、落ち込んだ気分。

ストア的——禁欲的、欲望抑制的、 stoïque。

露文学——ロシア文学。

傍線部の漢字(1)～(5)の読みとして、本文の論旨に照らして、誤つてゐるものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) ハンチュウ
- (2) フギョウ
- (3) ショウジン
- (4) ジジ
- (5) アイシャク

二重傍線部「不思議な両義性」に関する説明として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 青年期の成長過程で自己愛が存立するためには、他者から愛され承認されることが不可欠であるということ。
- (2) 「自我」があり自己中心的であることと、他者を許容してその存在を受容することは矛盾しないということ。
- (3) 自分をめぐる幻想に依拠しているナルシシズムは、実は他者との関係を排除しては成立し得ないということ。
- (4) 自己中心性としてのナルシシズムが、他者との関係の中で利己的なエゴイズムに反転してしまうということ。
- (5) 自分を愛するという自己中心性は、自分の外部の倫理や理想を取り込むことに深く関与しているということ。

空欄 A B  
にそれぞれ入る言葉として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- |                 |                 |                 |                 |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| (1) A 未来の、選択された | (2) A 精神の、捏造された | (3) A 高次の、修正された | (4) A 虚構の、想像された | (5) A 非在の、憧憬された |
| B 人格の求心性と単独性    | B 生命の充満性と情緒性    | B 自我の自立性と中心性    | B 自己の固有性と独立性    | B 精神の全体性と永遠性    |

本文の論旨に照らして、最も適当なものを次のなかから一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 二葉亭四迷や夏目漱石の文章に見られる「自我理想」は、青年期に自身をロマン化して精神的成长を促進するものであるが、それは自己の独自性を意識して自信を持つことだけではなく、空想的な「世界」における挫折の体験にも依拠するものである。
- (2) 自分が理想とする人物や理念に対する憧憬は、現実と理想をめぐる矛盾や自己愛の喪失などのネガティブな事態を引き起こすとともに、自己同一性の根拠となる「自己のロマン性」を担保し、生を味わう根源的な力を創出するポジティブな要因でもある。
- (3) 情緒性という要素は、人間のみに備わった身体性として快・不快の原理に基づいた行動規範を生み出すものであるが、そこで自らが生きる「世界」を時間性として味わうためには、エロス的原理であるナルシシズムによつて自己を中心化する必要がある。
- (4) 「自我理想」は、思春期から青年期の成長過程で育まれるロマン的世界を理念化したものであり、人間的社会的なアイデンティティがそこで発見され、自分が自分であるところの存在論的な理由が確立されることによつて、確固たる生の規範が形作られる。
- (5) 子供時代に様々な「物語」を空想することは人間存在にとつて必然的な成長過程であり、自我を除外した広大な「世界創造」として夢見られるその経験は、自分を取り巻く「世界」の中に更なる「未知」を発見してゆく体験として重要性を持っている。